

(2) りんご(シナノスイート) 《 審査日:令和3年10月13日 》

①審査所見

長野県で育成された「シナノスイート」は、高い市場評価が追い風となって生産拡大が進み、令和3年には県下のりんご栽培面積の10.4%を占める777haまで生産面積が増え、「ふじ」、「つがる」に次ぐ基幹品種となっています。コンクールは県内の産地育成・生産振興と栽培技術及び品質の向上を図ることを目的に、平成15年から実施されており、本年も県内各地から30点の出品がありました。審査は、審査基準に基づき色沢、玉揃い、形状、糖度、軽欠点果等を審査し、糖度測定には簡易型の光センサーを活用し、食味にも配慮した審査とするなど厳正かつ公正に行いました。

本年のりんごは、4月の度重なる凍霜害、6～8月の集中豪雨、高温干ばつに、各地での降雹による被害など問題が多い年でした。そのような気象条件の中、果肉軟化や日焼け果の発生、褐斑病や心かびなどの発生が多い年でしたが、昨年に続き本県に影響する台風は少なく、果実の落果や果面の擦れ傷等の被害は少ない年でした。

このような気象変動の激しい年でありましたが、今回の出品物は、いずれも日頃の丹精込めた管理が推察され、生産者の栽培技術を競うコンクールにふさわしい果実でありました。また、中信や東信地区からは、果皮色が明るい鮮やかな色調の出品物がみられ、各産地の特徴が現れていました。平均糖度は、14.1%と、昨年を0.2ポイント上回る糖度でした。上位入賞品は、糖度も高く、特に着色は素晴らしく仕上がっており、葉摘みや玉回しなどの管理も行き届いていました。果形や玉揃も良好で、軽欠点もなく、選果・出品技術の高さもうかがえました。

全体としては、栽培面積の増加にともない栽培技術は着実に向上していると感じました。入賞を逃した出品財も遜色なく、その差は果形不良や葉や枝かげによるサビや着色ムラなど極些細な欠点によるものでした。

出品者の皆様には、県オリジナル品種の栽培に積極的に取り組み、栽培技術の粋を尽くした果実を多数出品いただいたことに感謝申し上げます。また、入賞されました皆様にお祝いを申し上げますとともに、今後とも各地域での生産振興に先導的にご尽力いただきますことをお願い申し上げます、審査所見といたします。

②入賞者名簿

シナノスイート

区 分	氏 名	市 町 村
農林水産大臣賞	小林 英晃	山ノ内町
農産局長賞	渡辺 幸一	山ノ内町
長野県知事賞	田中 毅彦	東御市
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	小澤 守	安曇野市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	湯本 幸作	山ノ内町
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	鈴木 駿介	山ノ内町
一般財団法人長野県果樹研究会会長賞	小宮山 正峰	立科町
	二木 寿夫	安曇野市